

# 駅前広場レイアウト、歩行空間のあり方検討について

---

令和3年5月21日

# 1. 駅前広場レイアウトの検討

## (1) 議論の経緯

**平成26～29年度：「新幹線まちづくり検討委員会」の設置・開催**

○駅周辺や市街地のあり方、周辺地域等との連携等について検討



**平成30年3月：「北海道新幹線 倶知安駅周辺のまちづくり提言書」  
を新幹線まちづくり検討委員会委員長から町長へ手交**

○まちづくりのコンセプト、施設配置と駅へのアクセス路、駅及び周辺施設の機能等について提言



**平成30年度：「北海道新幹線倶知安駅新駅周辺整備構想」を策定**

○提言書を受け、北海道新幹線倶知安駅の開業に向けた、まちづくりのあり方について検討



**令和元年度：「北海道新幹線倶知安駅新駅周辺整備計画」を策定**

○新駅周辺の整備方針（土地利用、駅関連施設整備、交通ネットワーク）、駅前広場の整備方針について検討



**令和2年度：「北海道新幹線倶知安駅  
駅舎デザインコンセプト検討委員会」の設置・開催**

○駅舎デザインコンセプトの検討、駅舎（都市施設）及び駅前広場のレイアウトを検討



**令和3年度：「北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会」の設置・開催**

○新駅の駅前広場の歩行空間のあり方、新駅の都市施設に導入する機能とその規模及び配置について検討

# 1. 駅前広場レイアウトの検討

## (2) 整備計画における整備構想からの変更点と理由

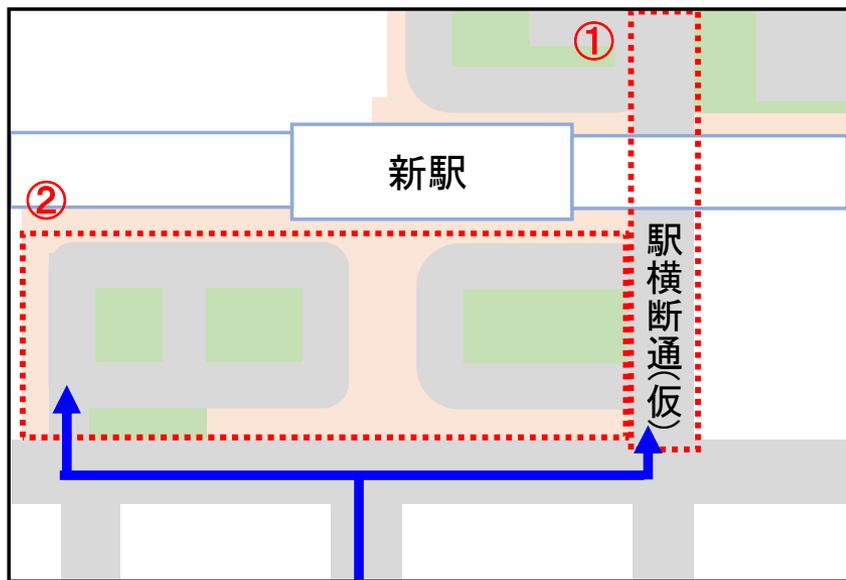
### 主な変更理由

#### ①横断道路の見直し(※下図の①参照)

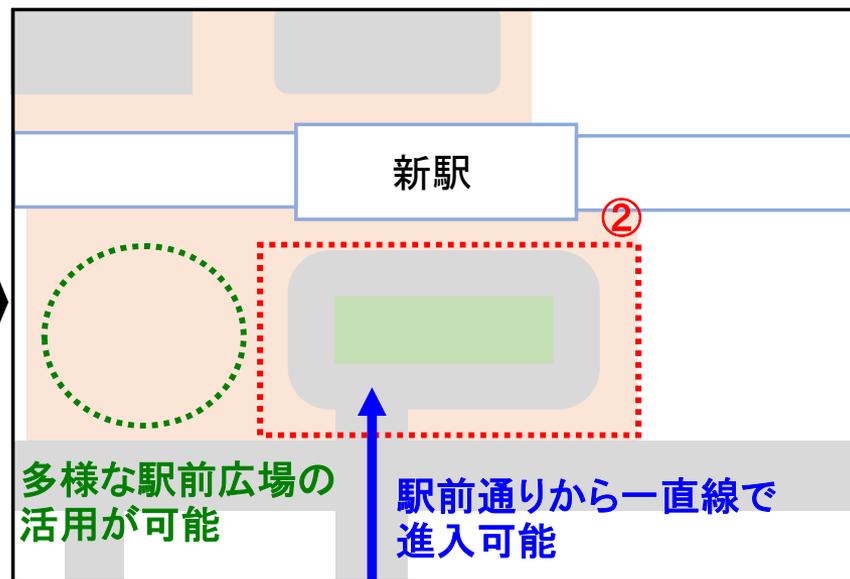
駅北側に駅西側と東側を結ぶ横断道路の整備を検討していましたが、駅西側の駐車場整備方針の変更により、横断道路の必要度が低下したため見直しました。

#### ②駅前広場のバス・タクシー・一般車の乗降場の一本化(※下図の②参照)

当初、タクシーとバスの乗降場を別々に配置を検討していましたが、駅前広場の大部分が交通広場となり、歩行者の市街地への動線を優先し、乗降場を一本化することとしました。一本化することで、交通広場の面積が縮小し、駅前広場の多様な活用が可能となります。



過年度までの検討



昨年度の検討

# 1. 駅前広場レイアウトの検討

## (3) 前年度検討における西口、東口駅前広場の方針

### ■ 在来線廃止の場合 ～都市施設分散型～

東口駅前広場・・・倶知安町内・周辺町村への利用主体の駅前広場  
 西口駅前広場・・・周辺地域(ニセコひらふ地区 花園地区)への利用主体の駅前広場

在来線廃止案(都市施設分散型)

S=1:400(A1)  
 S=1:800(A3)

0m 5m 10m 25m 50m

※新幹線駅舎内の施設配置は一般的レイアウトを例示している  
 ※動線、高架下の利用は想定であり、今後関係者協議が必要となる

方針④  
 駅前通りからアイストップとして駅のシンボルとなる都市施設が見えるように駅前通りの直線上に都市施設を配置

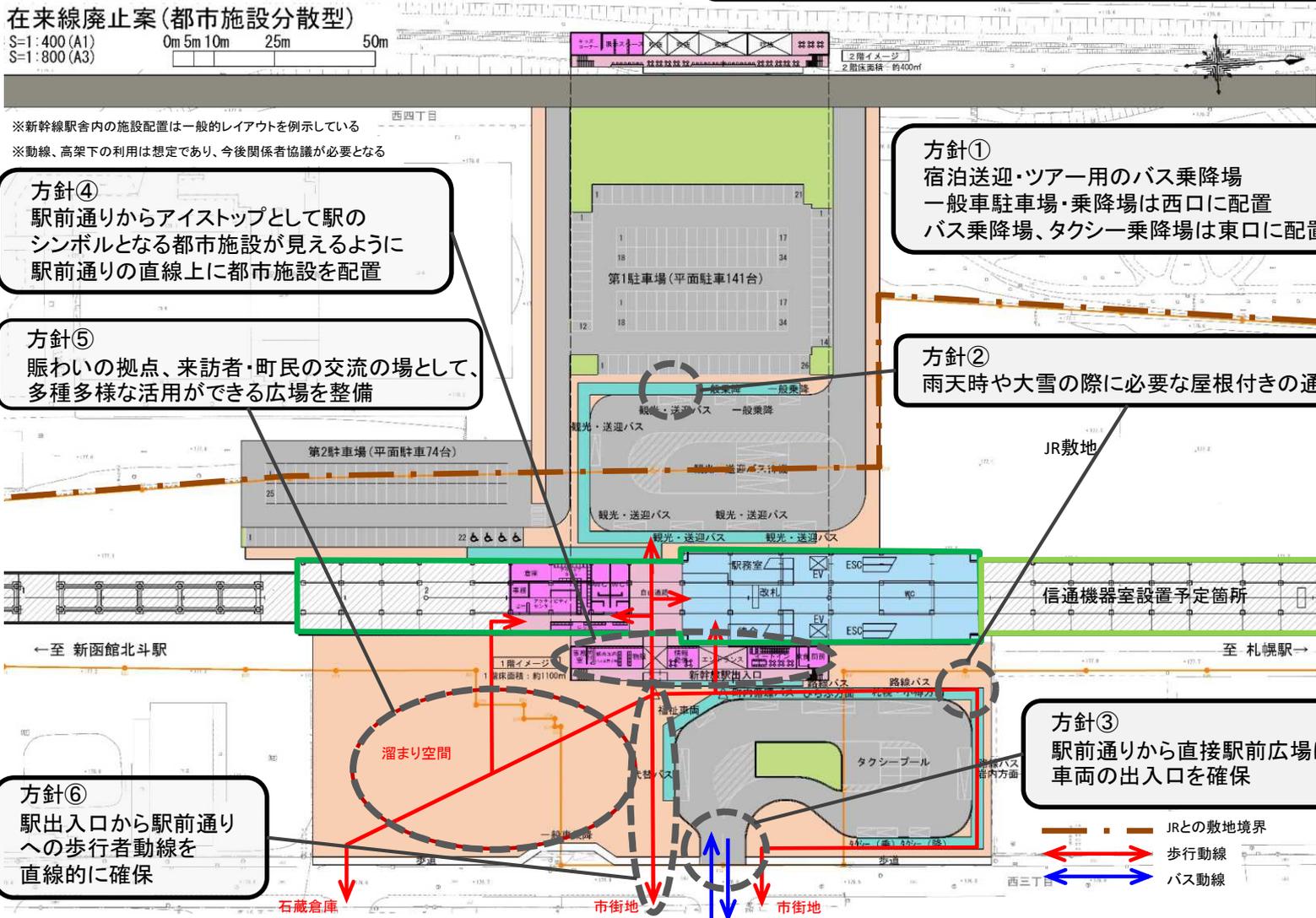
方針⑤  
 賑わいの拠点、来訪者・町民の交流の場として、多種多様な活用ができる広場を整備

方針①  
 宿泊送迎・ツアー用のバス乗降場  
 一般車駐車場・乗降場は西口に配置  
 バス乗降場、タクシー乗降場は東口に配置

方針②  
 雨天時や大雪の際に必要な屋根付きの通路を整備

方針③  
 駅前通りから直接駅前広場に入場できるような車両の出入口を確保

方針⑥  
 駅出入口から駅前通りへの歩行者動線を直線的に確保



# 1. 駅前広場レイアウトの検討

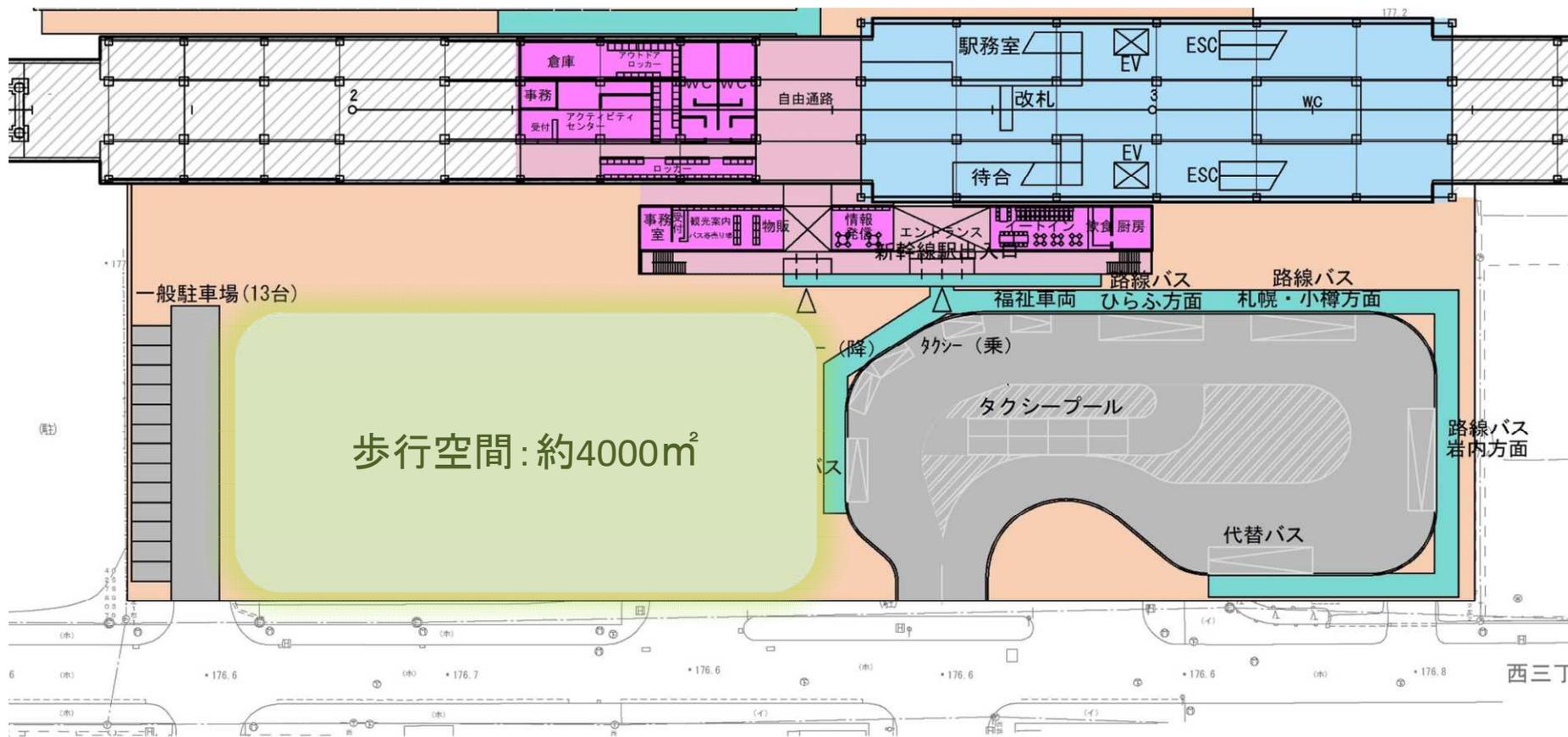
## (4) 「第3回 北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会」 「関係機関協議」における意見への対応

意見	対応	
一般車の駐車場は西口に配置されるということだが、基本的に一般車の乗降は東口でされるはず。そのような場合の利便性を考慮したとき東口にも駐車場が必要なのではないか。	○東口に一般駐車場13台を整備	「第3回 北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会」より
観光,送迎バスは西口に着く計画となっており、西口についてもたまりの空間が必要なのではないか。	○西口広場の自由通路付近にたまり空間を整備	「第3回 北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会」より
都市施設内に会議室等のスペースがあっても良いのではないか。	○都市施設2階部分に会議室スペースを整備	「第3回 北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会」より
タクシー乗降場の位置が駅舎入口から少し離れているため、なんとかならないか。	○タクシー乗降場及びタクシープールの位置を変更	関係機関協議より
東口のバスについて可能であれば、待機場を何台分か確保してほしい。	○現計画交通広場敷地においてバス待機場を確保することは軌跡上困難であるため、代替地又は運用について要協議	関係機関協議より



# 1. 駅前広場レイアウトの検討

## (6) 歩行空間の検討箇所



## 2. 歩行空間のあり方検討

### (1) 検討スケジュール (案)

#### 第1回 方針の検討

- ・前年度の駅舎デザインコンセプト検討委員会で検討した駅前広場のレイアウト(案)及び、景観計画の策定に向けた市街地景観検討部会で検討した駅周辺の景観づくりの方針(案)を踏まえ、歩道空間のあり方の方針を検討する。

#### 第2回 具体的な歩行空間の検討

- ・第1回の方針を踏まえた具体的な歩行空間を検討する。

#### 第3回 第2回委員会を踏まえた歩行空間の提案

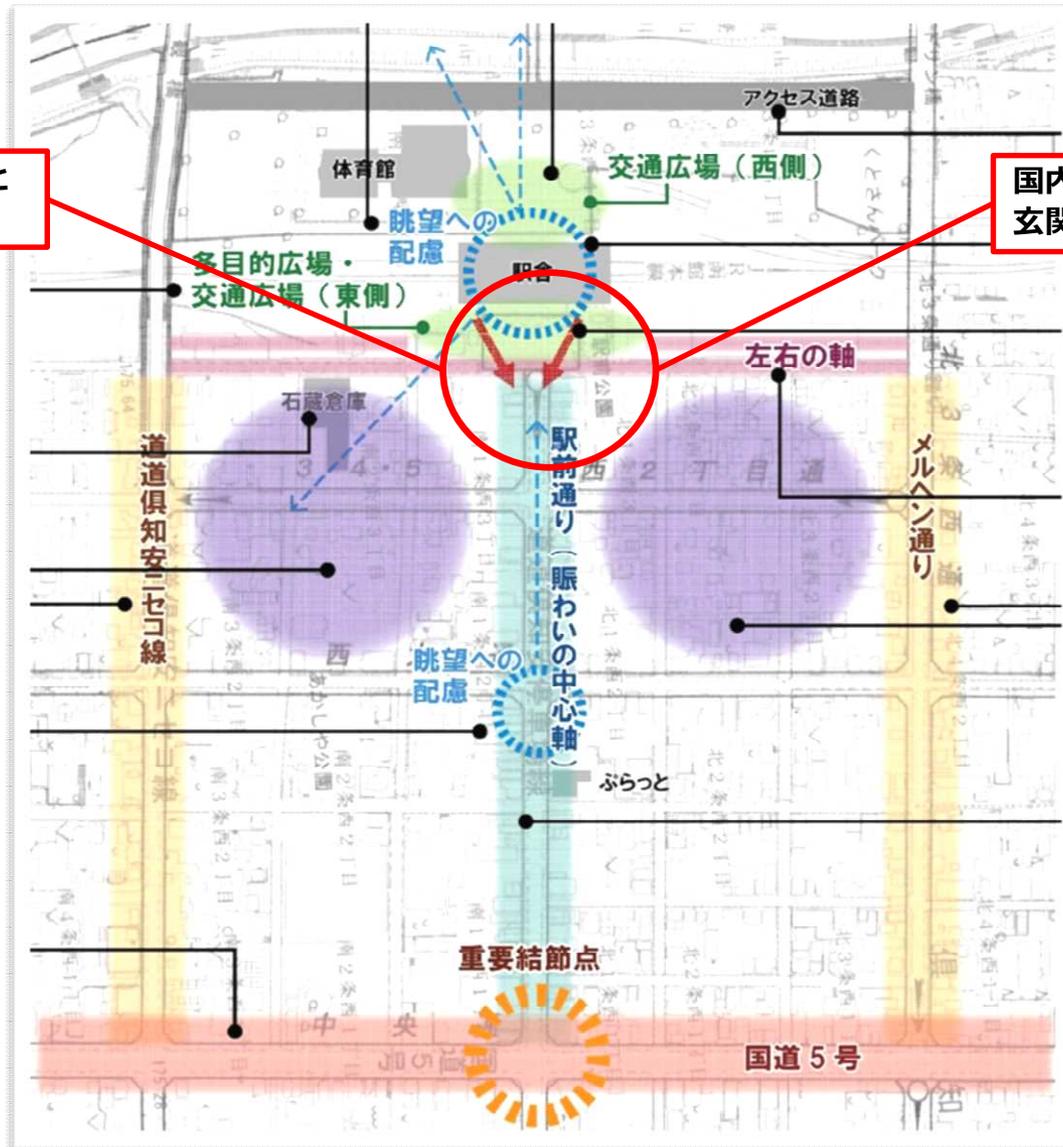
- ・第2回委員会を踏まえた歩行空間を提案する。

### (2) スケジュール (案)



## 2. 歩行空間のあり方検討

### (3) 市街地全体からみた駅前広場の歩行空間のあり方



西3丁目通りや駅前通りと連続性のある整備が必要

国内外の観光客や町民の玄関口としての空間が必要

## 2. 歩行空間のあり方検討

### (4) 景観まちづくり委員会での検討状況を踏まえた歩行空間のあり方

景観計画・緑の基本計画検討会議において「駅前広場の景観形成の方針（案）」が検討されている

#### 駅前広場(東側)について

- 利便性が高く人の動線を考慮した空間づくり（交通広場）

- ・バスやタクシーなどの乗降など、利用者にとって利便性の高い人の動線と待合環境を考慮した空間づくり

- 羊蹄山への眺望と緑の演出によるおもてなしの雰囲気創出（多目的な憩いの空間）

- ・緑や花などによる潤い感じるおもてなしの空間づくり

- ・羊蹄山への眺望が確保されるよう、工作物や植栽の高さや設置位置への配慮

- 人々が滞留し非日常の賑わいが生まれる空間づくり（多目的な憩いの空間）

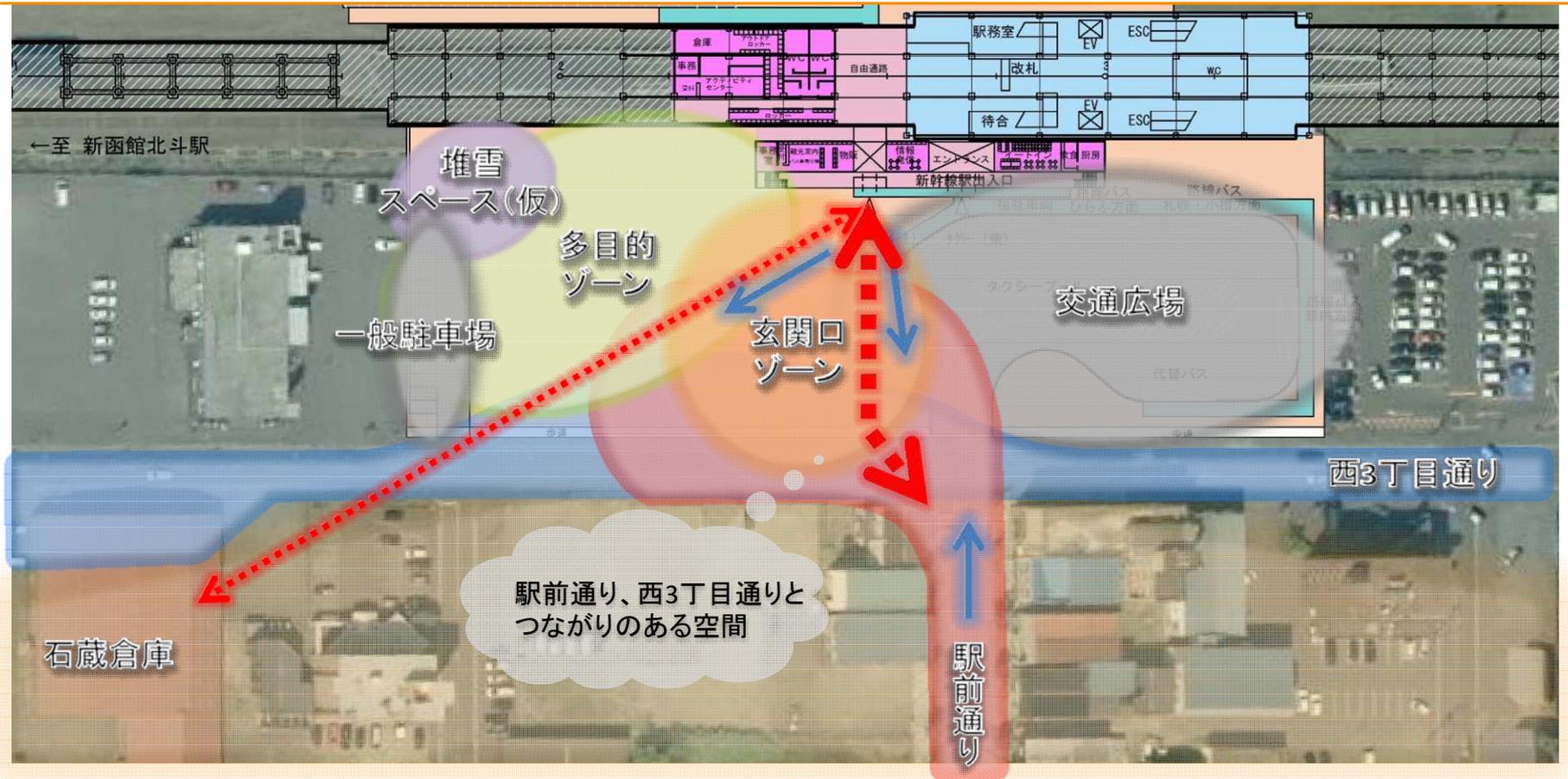
- ・ベンチの設置などにより駅を行き交う人々が心地良く滞留できる空間や、四季を通じたイベントの実施など非日常的な賑わいが生まれる空間づくり

- 駅前通りへ人々を導く空間づくり（交通広場・多目的な憩いの空間）

- ・駅前通りとの連続性の創出により、賑わいのある駅前通りへの人々を導く

## 2. 歩行空間のあり方検討

### (5) ゾーニング



玄関口ゾーン: 緑や花などによるおもてなし、ふるさとの風景を感じる玄関口としての空間

多目的ゾーン: イベントの実施など非日常的な賑わいや住民の憩いの場などの日常的な賑わいが生まれる空間

歩行者動線

眺望の確保

## 2. 歩行空間のあり方検討

### (6) 事例写真 (飯山駅)

※取り扱い注意



## 2. 歩行空間のあり方検討

### (7) 事例写真

※取り扱い注意



奈良県 天理駅



奈良県 天理駅



宮崎県 日向市駅



北海道 新函館北斗駅

### 3. 駅前公園施設の撤去・移設による課題

・駅前公園 公園施設一覧を以下に示す。

公園施設	種類及び名称	移設方針(案)
修景施設	噴水	撤去
	植樹柵	撤去
休養施設	ベンチ(背あり)	撤去
	縁台	撤去
	パーゴラ	撤去
	シェルター	撤去
教養施設	歌碑	移設(要検討)
	開基100年記念カプセル	移設(要検討)
	昴の像	移設(要検討)
	ロクさん像	移設(要検討)
便益施設	自転車置き場	撤去(代替地の確保)
	駐車場	撤去(代替地の確保)
	ジャガ太水飲み台	撤去
	昴の像水飲み台	移設(要検討)
管理施設	照明灯	撤去
	案内板	撤去
	物置	撤去
	水道メーター	撤去
	階段	撤去
	配電盤	撤去



開基100年記念カプセル



ロクさん像



歌碑



昴の像